

● 内政

1 金融インテリジェンスセンター、30億ドルを超える不正送金を検知

金融インテリジェンスセンター（FIC）は、2024年に700件を超える国外への不正送金を検知し、合計額は30億ドルを上回ると公表した。これらについては5億4000万ドルの課徴金を課したと表した。（なお、これらの案件は2024年度中に当該センターが処理した案件であり、必ずしも年度中に発生した案件ではないとの由。）なお、報告された件については多くは海外資本の貿易・鉱山関連企業に関するものであった。（1月5日、7日付 News Diggers）

2 政府、12月の政府支出を説明

財務・国家計画省は、2024年12月に231億クワチャ（約1300億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち64億クワチャが国内債務の返済、38億クワチャが対外債務の返済、25億クワチャが過去の債務に関する延滞金として支払われた。（1月7日付 News Diggers）

3 最高裁長官、裁判外紛争解決手続（ADR）の積極的な導入を呼びかけ

最高裁長官は、年始の挨拶で裁判外紛争解決手続の積極的な導入を検討したいと表した。これは紛争解決について、対話を通じた解決を目指すアフリカの情緒面的な部分に合致するのみならず、ザンビアの司法システムのキャパシティが限界に近づく中の対策として効果的と評している。昨 year ルサカ治安判事裁判所では、判事26名、裁判室12室の体制で刑事・民事併せて10500件程の案件が持ち込まれており、裁判手続が滞っていることが大きな課題となっている。（1月6日付 News Diggers）

4 大統領、反汚職委員会のトップを任命

ヒチレマ大統領は、国民議会の承認を前提とし、前最高裁判所判事を反汚職委員会の委員長に任命した。また、それ以外の空位についても任命を実施した。反汚職委員会は7月に高位者が全員解任され、汚職対策が急務である中、任命が待たれていた。（1月19日付 News Diggers）

5 ザンビア食糧備蓄庁、汚職捜査のため高官を強制休職措置

ザンビア食糧備蓄庁（FRA）は、昨年来実施している汚職捜査をより円滑に進めるため、常務理事及びその他幹部職員を2か月の強制休職処分とした。（1月23日付 News Diggers）

6 大統領、警視副總監を解任

ヒチレマ大統領は、警視副總監（オペレーション担当）を解任した。（当館注：詳細な解任理由については触れられていない。）（1月23日付 大統領 Facebook）

7 ドイツ大使、監査総監報告書の内容を嘆く

駐ザンビア・ドイツ大使は、監査総監報告書の中で、地方創生のための基金（CDF）に関する不適切な処理が多数報告されていることを嘆いた。全数が汚職とは限らないとしつつも、適切な監理体制の構築を呼びかけた。また、汚職防止法の見直し作業が進む中、他法も含めた包括的な法律・執行機関の権限強化のための支援を継続すると表した。（1月24日付 News Diggers）

8 政府、チョングウェ市長、全市議会議員及び土地管理局を3か月停職・閉鎖し汚職調査を実施

地方行政・地方開発大臣は、ルサカ近傍のチョングウェ市長、全市議会議員、土地管理局オフィスを3か月停職処分・閉鎖し、汚職調査を実施すると表明した。同市では、違法な土地管理がされ

ているとされ、国土・天然資源省もかねてより懸念を表していた。(1月30日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 大統領、SADC 臨時サミットプラスへ参加

1月5日、ヒチレマ大統領は、オンライン開催された SADC 臨時サミットプラスへ参加した。会合ではモザンビークの選挙後の混迷について議論がされ、地域内の安定確保のための介入措置などについて議論がされた。(1月5日付 大統領 Facebook)

2 外相、モザンビーク大統領就任式へ参加

1月13日、ハインベ外相はヒチレマ大統領の代理として、モザンビーク・チャポ大統領の就任式へ参加した。(1月13日付 外務・国際協力省 Facebook)

3 大統領、外交団に2025年施政方針を説明

ヒチレマ大統領は1月23日に、外交使節団に対して新年挨拶として2025年の施政方針を説明した。汚職対策を進める中での各国支援への感謝が述べられると共に、野党関係者が汚職対策を人権侵害と位置することに対し、反論が述べられた。また、各国に対し、協調投資の促進を呼びかけた。(1月24日付 Daily Mail)

4 大統領、ミッション 300 エネルギーサミットに参加

1月27日及び28日、ヒチレマ大統領は、タンザニアを公式訪問し、ミッション 300 エネルギーサミットに参加した。サミットではアフリカ大陸内のエネルギー供給に関する議論が交わされた。その傍らで、ヒチレマ大統領はコートジボワール・マンベ首相、マラウイ・チャクウェラ大統領、レソト・レツィエ3世国王と会談した。(1月27、28日付 大統領 Facebook)

5 外相、駐ザンビア米国大使と会談

1月29日、ハインベ外相は駐ザンビア米国大使と会談した。会談の内容はトランプ政権発足に伴う援助政策の変更についてであり、会談終了後、ハインベ外相名義で国民に対し両国間で有効に協議をしているため、冷静になるよう呼びかけるプレス発表が実施された。(1月29日付 外務・国際協力省 Facebook)

(了)